

10・27衆院選 選挙に行こう

衆議院(前)議員に
緊急公開質問状
結果はこちら



投票の参考にして下さい

全厚労ニュース

全 国 労 働 組 合 連 合 会
厚生連
〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月20日
https://www.zenkouro.org/

声を上げれば、変えられる

9・26 いのちまもる総行動で実感

9月26日、日比谷野音にて、「医療・介護・福祉に国の予算を増やせ! 9・26いのちまもる総行動(同実行委員会主催)」が開催され、全厚労各組織から89名、全体で2400人が集まり、YouTubeでも全国180カ所で視聴されました。

集会では、佐々木悦子医

後、総行動に賛同する日本医師会と日本歯科医師会からのメッセージが紹介され、医療・社会保障分野に関わる全ての人の想いを、この総行動が反映していることが確認されました。また国会からも日本共産党、立憲民主党、れいわ新選組の議員から、激励の言葉を受けました。



日比谷野音に集まった全厚労の仲間たち



厚労省へ向かって、熱い気持ちでシュプレヒコール



9月下旬とは思えない暑さの中、銀座を元気よくパレード



面白おかしく政治や社会を風刺する松元ヒロさん

特別ゲストには、「TVでは見られない芸人」の松元ヒロさんが登壇。ヒロさんは「ザ・コント ニュースペーパー」の立ち上げメンバーで、当時から政治・社会風刺で一世を風靡。あるTV局のプロデューサーから「ヒロさん、ぜひ独立しなよ」と促され、独立を決心したところ、その途端にそ

と笑いを取っていました。石川県からの地震・豪雨被災の特別報告の他、分野のリレートーク、厚労省へのシュプレヒコールと続き、最後に銀座パレードで道ゆく人に「いのちまもれ」とアピールしました。

職場改善のヒント満載

新ポチツと学習15

23年度に取り組んだ「ポチツと学習15」が、職場を良くする学習テーマ10本に倍化、視聴期間も2年間(26年9月末まで)に増やして、新たにスタート。講師はおなじみ久啓太氏(岡山県学習協)で、優しい語り口と分かりやすさが好評です。QRコード、又は全厚労組合専用ページから視聴できます(パスワードは各労組本部にお尋ね下さい)。



広島・徳島

動いて、動いて、動いて! 賃上げ支援、報酬再改定へ 地元選出議員を訪問・懇談



佐藤公治議員(左)と小島敏文議員事務所を訪問(広島)



仁木博文議員(左手前、右写真中央)と40分間の懇談(徳島)



全厚労の「動いて動いて」の提起を受けて、各組織での地元議員訪問活動が進められています。
9月28日、広島労が県の大大会後に地元選出の佐藤公治議員(立憲)と小島敏文議員(自民)の事務所を訪れ、全厚労の「国会議員への要請書」を手渡しました。10月6日には、徳厚労がこちらも大会後に4名の労組役員で選挙事務所へ赴き、以前から繋がりがあり、本人も医師である衆議院厚労委員・仁木博文議員(自民)と直接懇談しました。議員とは地元の医療・介護体制の課題や国の制度等について、約40分間意見を交わしました。仁木議員からは「要望書の内容はその通り。解散前にも厚労省に働きかけ」との対応をいただきました。

労働組合用語集

所定内賃金:就業規則や労働協約、雇用契約などで定められている休憩時間を除いた始業から終業までの所定労働時間にたいして支払われる賃金のこと。月毎に変動しない基本給や資格手当、通勤手当、家族手当、住宅手当等が含まれます。一方、所定外賃金とは、所定時間外労働を行った際のいわゆる残業代や早出・遅出手当、夜勤手当など、勤務によって変動することがある賃金です。

加重平均賃金:加重平均とは値の重み(ウエイト)を加味した平均の算出方法で、賃金で考えた場合、単組別回答を単組数で割った単純平均とは違い、影響する組合員(職員)の人数を計算に反映させることで、正確な一人当たりの賃金水準が分かります。例えば、平均賃金24万円1,000人の組合と、26万円の200人組合の単純平均賃金は、(24+26)÷2=25万円となりますが、加重平均では、(24×1,000+26×200)÷1200=24.33万円…、これが1,200人の正確な平均賃金となります。

希望はユニオン

9月26日、日比谷図書文化館にて、全厚労は24秋闘決起集会を開催。記念講演として毎日新聞社記者、東海林智さんに労働組合へのエールとなる話として、「普通に働いても普通に暮らせないこの国を変える」と題し、昨今の日本の労働運動の現状から問題点までさまざまな事例を記者の目線からお話しいただきました。



東海林智さん

コロナ禍の貧困の現場

まず困窮したのはシングルマザー、若者、高齢者である。親子心中まで追い込まれたヤクルトレイ。特殊詐欺の受け子になった派遣労働者の若い女性と高齢者。フリーランスは現代の

日雇いである。30年前より高い貧困率は賃金が上がらない中で、物価上昇しているのだから当然のこと。

理屈に合わない非正規労働者の増加、歴史と背景

日本の労働者が困窮した背景には、95年「新時代の日本の経営」を当時の日経連（現経団連）が提唱したことに始まる。それは、正社員で採用し、定年まで働くという「日本型雇用」との決別を意味している。高くなりすぎた人件費を削減する目的であったが、30年かけて非正規を拡大させた結果、日経連でこの提言を作った者は、「やり過ぎた」と振り返る最悪の事態になっている。経営側も景気が悪くなれば（リーマンショック等）派遣切りなど労働の「部品化（商品化）」が

進んだ。人をモノとして扱うことに（戦中のように）躊躇しなくなったことから2008年の派遣切りにつながり日比谷公園が派遣村の舞台となった。

安い国ニッポン

非正規が大幅に増えた結果として日本の労働者賃金は低下し、「安い国」になった。最賃、実質賃金、どの項目を見ても、G7など主要国の中では最低レベル賃金水準になっている。その一方大企業は内部留保を大幅に増やし、20年間で約3倍に増やした。95年から少子高齢化の流れは明らかだったのに、非正規を増やし労働者から安定した賃金を奪うことをやった為、少子高齢化が加速し、人手不足で仕事があっても人がいないような状況に陥ってしまった。

労働運動・労働組合の責任は？

内向きの運動を続けた（企業別組合）ゆえに労働運動が社会的に広がりを作ることが出来ず、市民に労働組合の役割や姿が見えない。市民には既得権にしがみつくグループと見られ、大阪維新による労組叩きには市民が拍手、維新が人気を博す結果にもなった。ストライキにも迷惑との視線が注がれた。連合・産別

その一方、外国人労働者の移民を拒み、人権を蔑ろにするような政策を続けた結果、円安もあり、安い日本は「選ばれない国」になった。外国の賃金の伸びと日本との決定的な違いは政権交代の有無だと感じる。自民・公明が権力を握り続けることで大企業・財界の利益のみを代弁した結果、公平な分配が阻害されてきた。

ストライキ戦術の再構築と社会運動

厚労省調査でストライキの実施件数は、1974年の5197件をピークに減少の一途を辿っている。81年に1000件を割り、連合結成後、労使協調路線が推進され、さらに激減。近年は30件台になる。全労連が23春闘で「ストライキ戦術」を改めて提起しストを打てる組合にパー

による、積極的なストの封印の影響もある。ストをする組合に「古い運動」左翼のレッテル貼りをして、連合会長時代の古賀伸明氏は春闘会見で「ストは時代遅れ」と鼻で嗤った。

そごう・西武労組の61年ぶりのスト

連合傘下のそごう・西武百貨店の労組（U A センセ）が昨年8月31日に池袋本店で約900人の同店組合員が1日のストに突

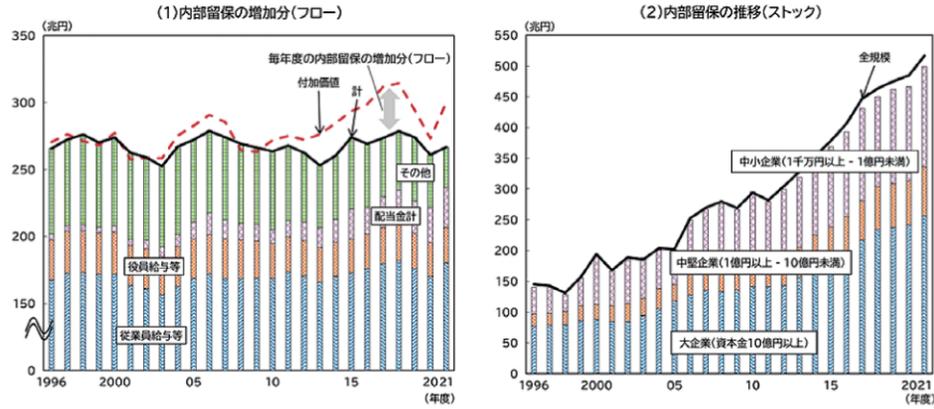
社に「理解」を示しても、自らの雇用すら不透明で労組の存在意義が問われる中で、ストで対抗する決断をした。ストの効果として、スト権を立てる前の団交では一切でこなかった売却に関わる情報が出てくるようになりセブン&アイの井阪社長を始め幹部が団交に出席するようになった。ストの反応は「ストは迷惑」が定番であるが、市民の多くは好意的で労組のデモには拍手も湧いた。（文責・編集部）



マスコミも注目した西武百貨店のスト

第2-(1)-15図 企業における内部留保の推移

○ 付加価値が増加する中で、企業の内部留保は増加。



資料出所 財務省「法人企業統計（年報）」をもとに厚生労働省政策統括官付政策統括室にて作成
 (注) 1) 「金融業、保険業」を除く全産業の数値。
 2) 内部留保（フロー）＝当期純利益－配当金、当期純利益＝付加価値－従業員給与等－役員給与等－その他（税金、減価償却等）
 3) 内部留保（ストック）は利益剰余金を指す。

厚労省の資料より

連でこの提言を作った者は、「やり過ぎた」と振り返る最悪の事態になっている。経営側も景気が悪くなれば（リーマンショック等）派遣切りなど労働の「部品化（商品化）」が



23年3月の国立東京医療センターでのストライキ

【ストを成功に導いた要因】

そごう・西武労組はスト前に店頭で市民に向けて売却阻止を求める署名活動を実施。集めた署名を地元自治体（豊島区）へ持って行き、首長に働きかけた。自分たちの雇用問題であるが、それをメインにするのではなく「池袋に百貨店を残せるかの問題」と社会的課題に持ち上げ、地域、自治体との連携を模索した。スト当日のビラや横断幕のスローガンは「私たちの雇用を守って」ではなく「池袋に百貨店の文化を残そう」とアピールした。

【理解ある社会運動に】

そごう・西武の闘いは地域・客との連携を模索し社会的な労働運動に持っていったように、ストライキを組合だけの課題とせず、地域・市民グループを巻き込んだ（理解を得る）社会的労働運動が求められる。社会運動と結びついた労働運動でなければ、変革や勝利をつかみとることは難しい。逆に社会的な労働運動に広げていくことが、労働運動の再生への希望となる。全厚労も社会的労働運動へと昇華して目指すことがストライキ成功へのカギとなり、希望となる。

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第200回は秋田・三重にお願いしました。

私は秋田県厚生連の雄勝中央病院で看護師として働いている石垣理穂です。全厚労看護委員を一生懸命頑張っています。皆さんに優しくしていただき楽しく活動しています。

10月のナースウェブでは看護師の実態を訴え、看護師を増やすための署名活動を行い、たくさんの方にアピールできとてもいい日になりました。集会も楽しく実施でき、たくさんの仲間とまた来年もぜひ参加したいです。これからも労働環境改善に向けた取り組みを頑張っていきますのでよろしくお願いします。



秋田 石垣理穂さん



三重 田中陽樹さん

入職4年目の看護師の田中です。入職以降、鈴鹿厚生病院で精神科救急病棟に勤務しています。日々、患者様の精神状態の観察やどのように本人の持つ力を引き出し、地域に帰ることが出来るかを考えながら働いています。
組合活動は昨年度から三厚労青年委員として関わらせて頂き、今年度より部長を務めさせていただきます。コロナによる行動制限も緩和されつつあり、今後はもっと青年部活動を盛り上げられるよう努力していきたいと思っています。

読者の声

最近結婚しました。仕事と家庭の両立が出来るか不安ですが周りの先輩方を見習って看護師としてこれからも頑張ります。(富山)

機会だと思つたので、これからたくさんの方の男性の方に育休を取得して欲しいと思います。(福島)

北海道の夏は短いと聞きます。夏が苦手な私は北海道が憧れです。目標が何か知りたいです。(AK)

最近あった良いことは、クオカードが当たったことです！他県の皆様の活動を知ることができ、私も日々頑張つていこうと思います。(徳島)

ニース読者からの声、励みになります！今後も応募お待ちしております。(EN)

医労連共済 対話の呼びかけ

生命保険のCMを見かけない日はなく、とりわけネットで見積りを促す宣伝が増えています。生命保険文化センターの調査によれば、生命保険に加入した方の中で最も多いのは家庭や職場を訪問する生保営業職から46%となっています。続いて生保や銀行などの窓口販売27%、ネット販売は7%に留まっています。暮らしの中でも大きな出費のため、対面・対話を通して加入するケースが多いようです。

医労連共済は、組合員・家族を対象とした労働組合の助けあい制度です。対話での働きかけは労働組合が得意とするところ。共済説明会を開催して、安い掛金・大きな保障の医労連共済への加入を勧めていきましょう。



全厚労 X 全国の活動をポスト中!



全厚労HPIはこちら! 全厚労HPIはこちら! 全厚労HPIはこちら!



読者の声、聞かせて・教えて、クイズ答えはすべてQRコードよりスマホから投稿できます。氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。

まちかど珍画報 カクイシジュンステ



乾きの遅さで感じる秋

今月はキーワードクイズ

【問題】「医療・介護・福祉に国の予算を増やせ!」の呼びかけで全厚労も参加した9月26日・日比谷野外音楽堂で行われた総行動の名称は?

答え『い□□□る』

紙面をヒントに答えを埋め、右QRコードまたは下記あて先へお送りください。

当選者(読者の声掲載者含む)15名様に図書(クオ)カードを差し上げます。答えと本紙の感想などを添えて下記あて先へお送りください。当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。8月号の答えは「サーフボード」で、当選倍率は2.2倍(クロスワード・聞かせて、読者の声計15名当選)でした。

教宣部の つぶやき
新年度になり組合の新しい役員になられた方も多くみえると思います。労働組合は経営者と対等に話し合える唯一の存在です。労働条件や労働環境の改善には交渉の時や協議会の場では経営者に臆することなく職場から出てきた問題をしっかりと経営者に伝えることがとても大切です。これからは頑張つていきましょう。(OG)

広島・秋田・福島

要求達成の秘密とは

各県定期大会に参加してきました(その3)

広島 「動いて、動いて、動いて」

広島は24春闘で1万円ベアを達成し、全国の労組の仲間を勇気づける成果でした。その秘密はどこにあるのか？広島定期大会に参加して感じたのは、執行部員同士の仲の良さとお互いを信頼している団結力の強さにあると思えました。そして、地道に現場の声を聞きすぐに行動する組合活動の基本をきちんと行っている姿が見え

いることです。定期大会終了後にすぐに地元議員要請に訪れるフットワークの良さもあります。

定期大会中は執行部の説明を真剣に聞いていた組合員の表情からも執行部を信頼して頼りにしていることがわかります。現場で起こる諸問題を執行部が対処し、きちんと団交を行い、解決に導いている姿が見え

るからだと思えました。広島が24秋闘からも継続して全厚労を牽引する存在であることを確信し尾道の地を後にしました。

（全厚労 大栗陽 記）



挨拶をする高本奉彦執行委員長

秋田 活発な秋闘要求討議で 春闘に繋がる秋闘へ回結固める

9月28日、第77回秋厚労定期大会が、秋田県中央区老人福祉総合エリア・多目的ホールにて9支部と本部を合わせ80名の参加で開催されました。

大会は、議案提案と共に各専門部からの報告がありました。女性や青年部、看護改善委員会等からは、交流の重要性に重きを置いた活動や全厚労との共同の取り組みが報告され、教育宣伝部からは、公式ラインの活用や、新入組合員向けの学習の取り組みが報告されました。

その後、活発な秋闘要求討議と各支部からの議案討論を行い、全ての議案が満場一致で採択されました。最後は進藤執行委員長

の団結ガンパローで締めくくられました。参加させて頂いて特に印象深かったことが2点あります。1つは畠輝義書記長の総括と方針提案です。医療情勢や病院経営について数字を示しながらの丁寧な解説を交えた総括と、全国の厚生連病院や組合運動の歴史や変遷をふまえた方針提案は、是非全国の皆さんにも聞いて頂きたい提案でありました。

2つ目は秋闘の要求討議です。10の要求案に対して、9支部が活発に意見を出し合い要求をすり合



秋厚労定期大会 満場一致で方針採択

ドクター山本晴義の心の相談室(11)



山本晴義先生

「良いこと日記」のすすめ

「すべて心のもちようひとは日本を代表する実業家、渋沢栄一の名言の一つです。新一万円札の肖像画の人物として、より身近な人物になりましたね。

この名言は、世間で起こるすべてのことは心構え一つで良くも悪くもなるという意味です。例えば、仕事で他社との交渉が決裂したとし

ましよう。絶望的になり「今までの努力が実を結ばなかった」「自分の評価も下がっている」「自分が悪い」と思う人もいれば、「〇社の求めていることがなかった」「〇さんと親しくなれた」と次の機会につなげようと思える人もいます。起きた事実は変わらなくても、捉え方次第で状況が変わります。

悲観的な考え方に傾きやすい人は、「大きなプロジェクトを成功させた」「子どもが第一志望の学校に合格した」など大きな出来事しか成功と認知しない傾向があります。しかし、そんな成功は人生で何度も訪れるわけはありません。ポジティブに考える人は小さなことを成功と捉えることが上手です。さて、「良いこと日記」は、眠る前に書くのが最も効果的です。就寝前の30分で得られた情報を脳は睡眠中に処理していくといわれています。「小さなことでもよいことが結構あったな」と思いながら眠りにつきましょ

福島 ここでも働くメリットは 労働組合があるところ

10月6日、磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」にて、福厚労第77回定期大会が開催され、63名（+委任状32枚）が参加しました。総括・方針（案）は佐々木書記長が

残った言葉として「未来は私達の運動でつくる」と述べ、署名活動に力を入れることを強調しました。

討論は、支部ごとに職場の課題が中心の発言でした。発言通告集として配布されており、全組合員で共有する工夫がされていました。討論を受け執行部は、「各支部共通の課題は人員不足。署名運動を通して県や国に訴えていく事が大事」とまとめました。

最後に、現状の課題と



挨拶をする畠副執行委員長

「各支部共通の課題は人員不足。署名運動を通して県や国に訴えていく事が大事」とまとめました。最後に、現状の課題と



福厚労定期大会 団結ガンパロー

退任する執行委員から挨拶があり、「みんなの想いをくみとることをがんばった」「ここで働くメリットを聞かれ、労働組合があるところと答えた」と役員としての活動を振り返りました。

（全厚労 畠輝義 記）